

## R7.2.14 第1回検討会で中高連役員からいただいたご意見

- 私立高校では、人件費・物価高騰への対応や生徒確保対策、熱中症対策等に苦慮している現状がある。
- 部活動支援や留学生受入れ、高大連携、不登校支援といった生徒のための支援や経常費や体育館の空調整備等の学校に対する支援を求める意見があがった。

出席者：和田理事長(灘)、八代副理事長(神戸国際大附)、柳副理事長(蒼開)、山内常任理事(甲南)、井上常任理事(神戸弘陵)、河野常任理事(兵庫大附須磨ノ浦)、森谷理事(神戸女学院)、村野理事(彩星工科)、武井理事(育英)、熊見理事(神戸星城)、摺河理事(姫路女学院) 計11名

グローバル人材	<p>&lt;留学生の受け入れ&gt; これから的人口減少社会を見据え、高校でも留学生の受け入れをしていかなければならない。<u>留学生の受け入れ体制等への支援</u>（渡航費、寮、日本語教育等）が必要。</p> <p>&lt;海外留学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>海外留学をさせようという取り組みに力を入れている。</li></ul>
生徒会活動・部活動	<ul style="list-style-type: none"><li>部活動のための施設にそれなりのお金が必要。魅力ある施設にしないと生徒が集まらない。</li><li>部活動の練習場所を私学間で共同活用できないか。</li></ul>
高大連携	<ul style="list-style-type: none"><li>中高連と私立大学で高大連携をすることで、私立中高の生徒がいろんな大学の先生から教えてもらう。将来的には大学進学も連携できたら。</li><li>実習の際に、<u>大学・企業・専門学校から、講師の派遣や施設利用させてもらう連携</u>をもっと進めたい。</li></ul>
不登校支援	不登校の生徒が広域通信制に流れている。不登校生徒の補習対応への補助だけではなく、 <u>不登校に対する特別な取組み</u> をしている学校への補助を拡充してほしい。
通学費支援	高校を選ぶ理由の上位に交通の利便性があがってくる中で、 <u>交通の不便などに所在する本校にとってありがたい制度</u> である。
OBの活用	私学は歴史ある学校が多いので、 <u>OBに教育に参画してもらう取組み</u> をしている。
人件費	<ul style="list-style-type: none"><li>公立学校や他分野の民間企業のベースアップに見合う賃上げをしなければならないが、R7の経常費補助の拡充でも足りない。</li><li>実習は1クラス1人の教員配置という訳にいかないため、人件費が重い。</li></ul>
施設整備	<u>経常費の単価アップ分は、人件費に充てざるを得ず、施設整備費がまかなえない。</u>
実習	工業高校は、 <u>実習の作業費がかなり上がっている</u> 。（また。1クラスの実習に対して1人の先生というわけにいかなくて、人件費も結構重い。）
体育館の空調	温暖化が進み、 <u>体育館に冷房を入れなければ、熱中症になりかねない</u> 。学校の責任問題になるので、 <u>体育館への空調整備への支援</u> をお願いしたい。
施設の供用	各学校が工夫して学校運営しているが、学校同士の連携ができないか。 <u>実習場所や寮、部活動の練習場所等の共同活用ができる体制を確立</u> できるよう協力いただきたい。
教員の交流	教育の質を高めるには教員の質を高める必要がある。 <u>他の私学との人事交流</u> ができないか。他校のいいところを勉強して、自分の学校に戻って力になることで、人材が活性化するのではないか。
公私比率 公立の学区、入試日程	公立学区の設定や入試の施策が私学に大きな影響を及ぼしているのではないか。